

図-6.20.1.72 主要な眺望景観の状況（米軍施設内地点・冬季・昼間）

また、地元住民の方へのアンケート調査で得られた地点ごとの価値の把握結果は図-6.20.1.74及び図-6.20.1.75に示すとおりです。

アンケートは、現況写真を見ていただき、写真から受ける印象について5段階評価をするSD法で行いました。価値の評価に係る形容詞と数値割り当ては表-6.20.1.49示すとおりです。

普遍価値、固有価値ともに安部崎・二見海岸・潟原の干潟、ヒーピー海岸交流広場などが高くなる傾向がみられました。

なお、アンケートは633部を配布、300部を回収し、回答欠損分を除く有効回答は254部でした。アンケート対象者全体の男女比及び年齢構成比は図-6.20.1.73に示すとおりです。

表-6.20.1.49 価値の評価に係る形容詞と数値割り当て

調査項目	普遍価値			固有価値		
	審美性 (総合指標)	自然性	眺望性	固有性	歴史性	郷土性
景観の印象	美しい	自然な	開放的な	めずらしい	歴史を感じる	地域イメージに合っている
非常に	1	1	1	1	1	1
やや	2	2	2	2	2	2
どちらでもない	3	3	3	3	3	3
やや	4	4	4	4	4	4
非常に	5	5	5	5	5	5
景観の印象	美しくない	人工的な	閉鎖的な	ありふれた	歴史を感じない	地域イメージに合っていない

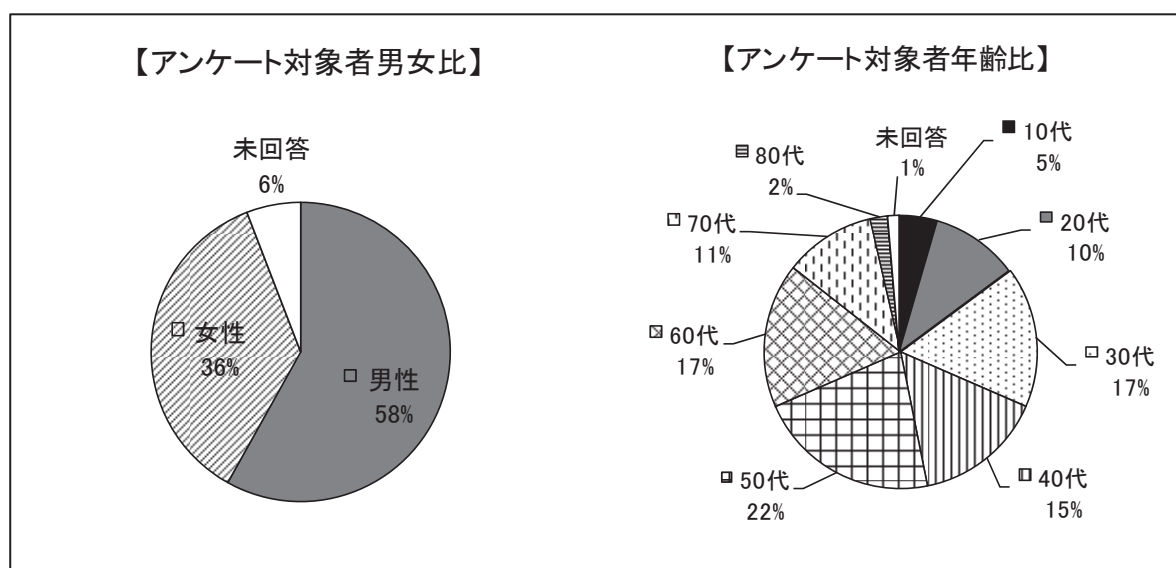


図-6.20.1.73 アンケート対象者全体の男女比及び年齢構成比

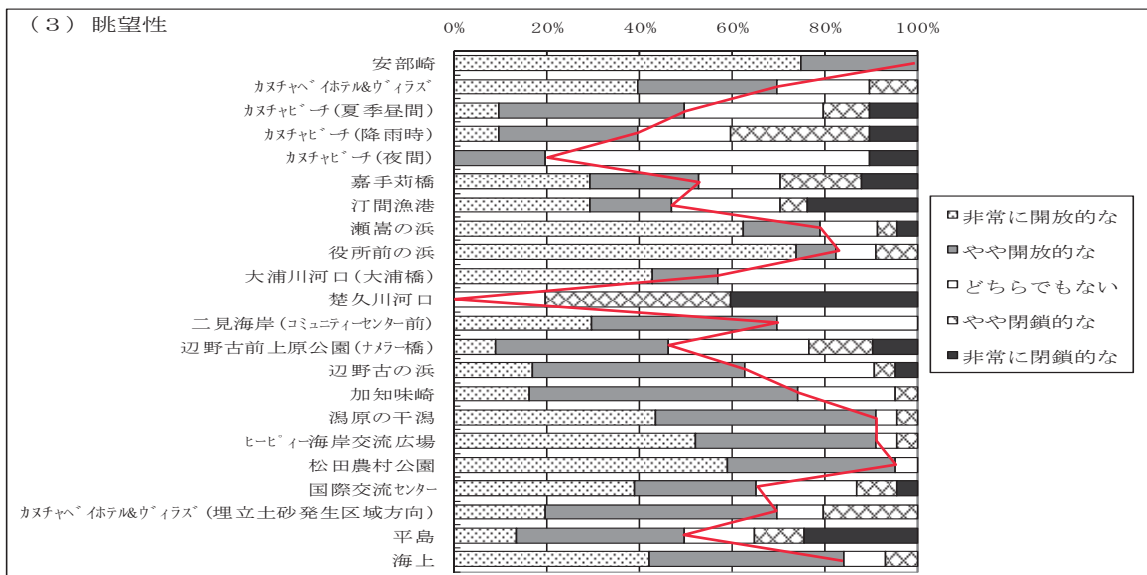
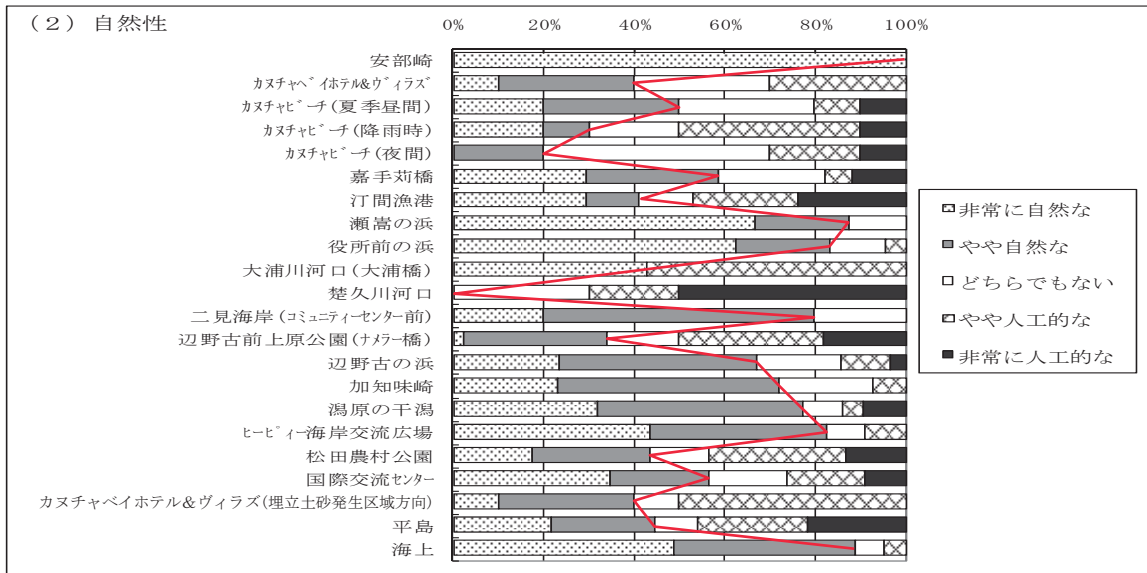
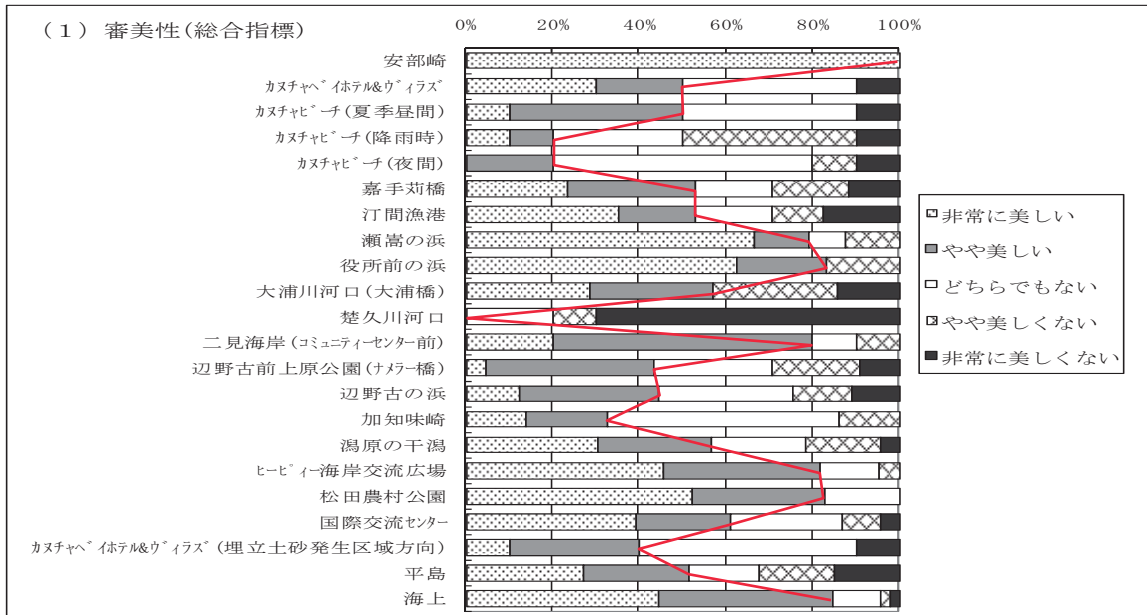


図-6.20.1.74 眺望景観の視点場ごとの価値認識結果(その1)

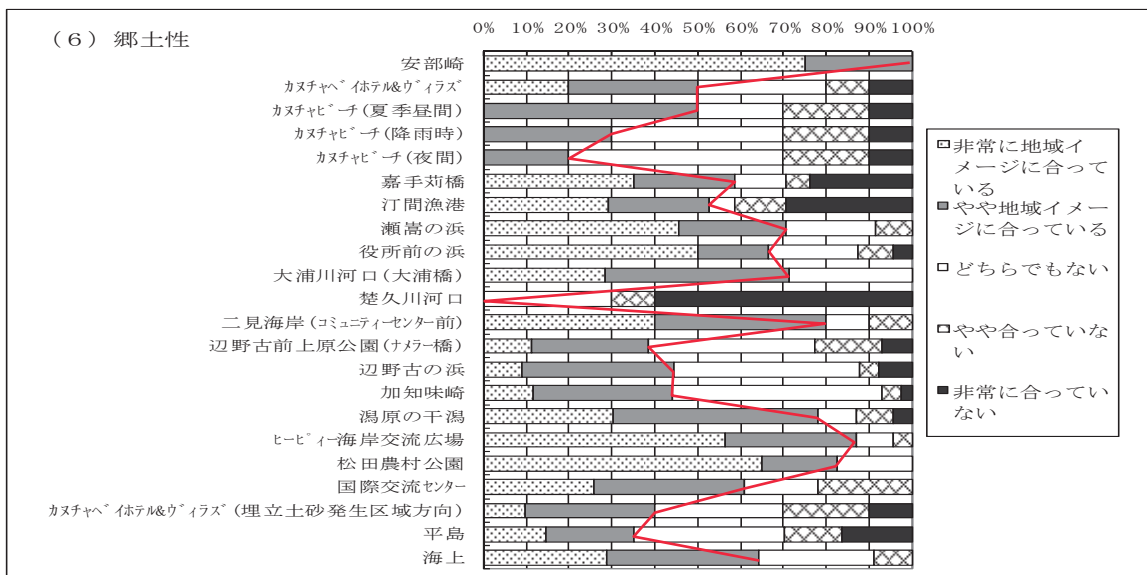
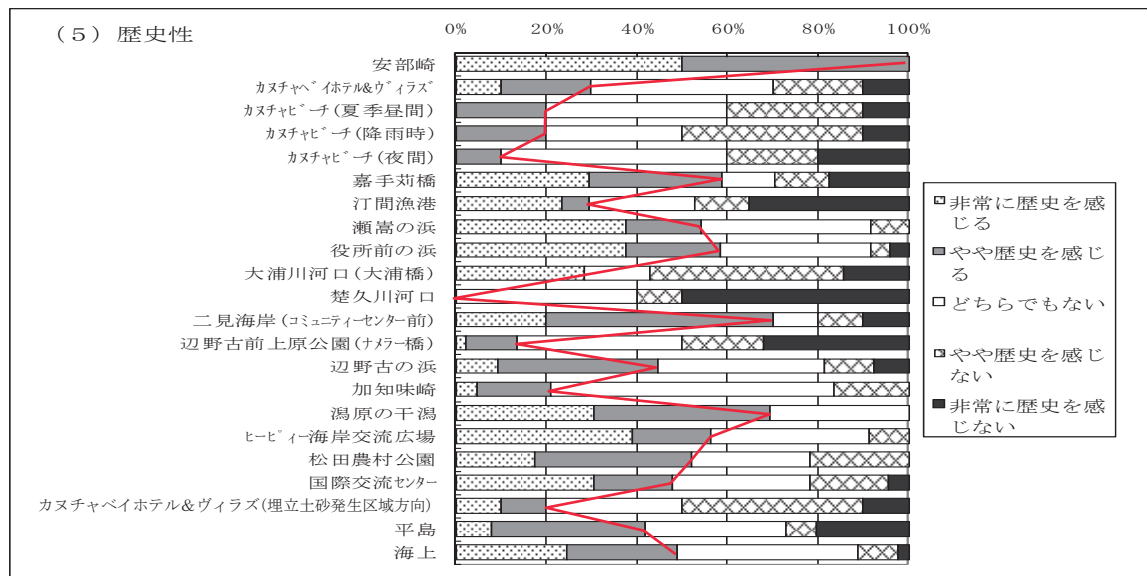
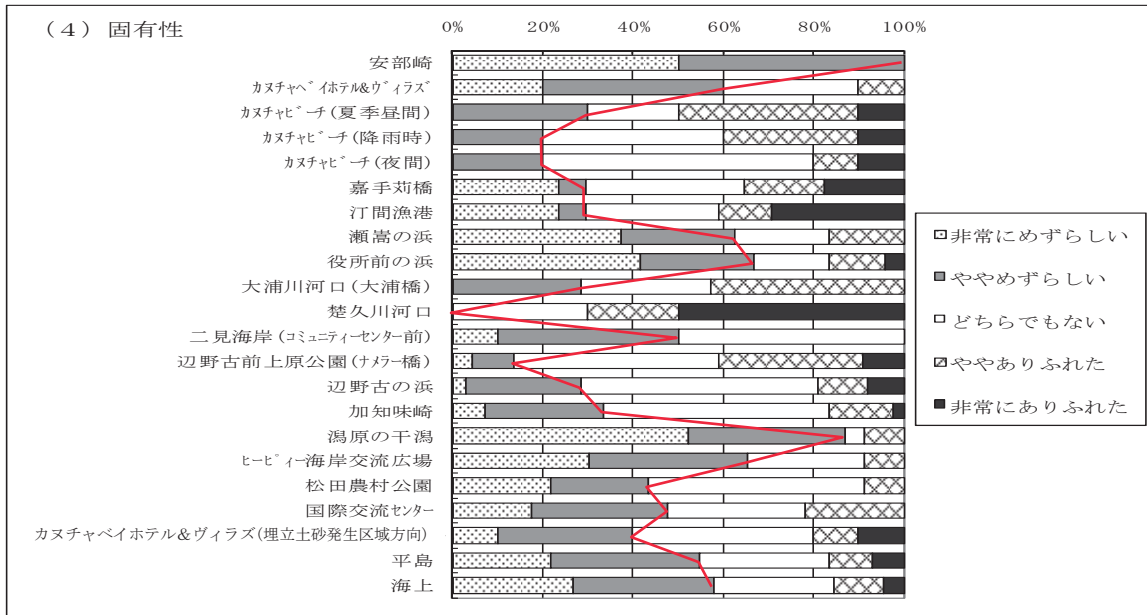


図-6. 20. 1. 75 眺望景観の視点場ごとの価値認識結果 (その2)

b) 航空機

既存資料調査において選定した10地点からの眺望状況について、4季にわたって撮影を実施しました。時期による眺望状況の差はほとんどなく、代表として夏季の撮影結果を図-6.20.1.76に示しました。

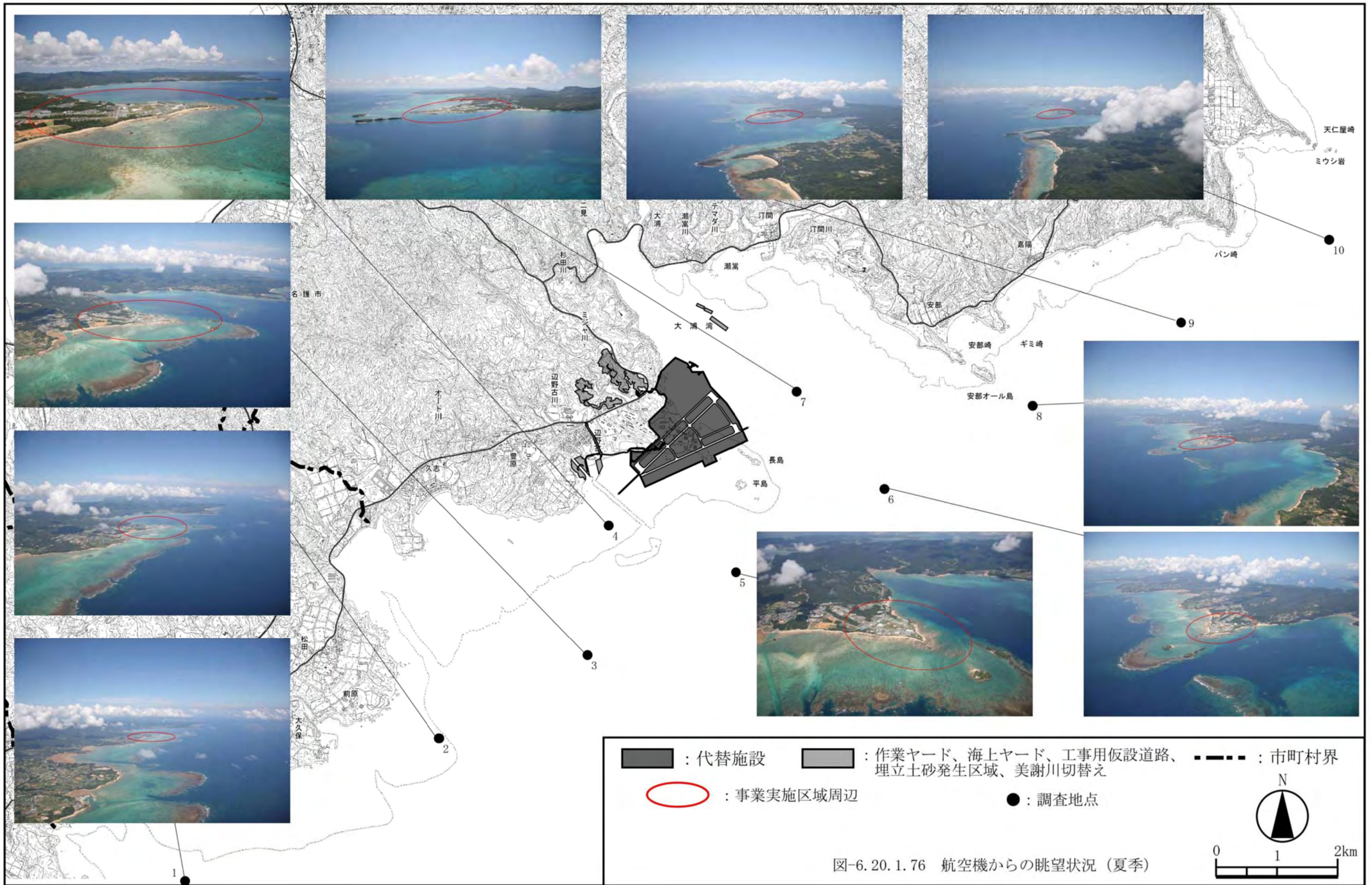


図-6.20.1.76 航空機からの眺望状況（夏季）

c) 海上

既存資料調査において選定した10地点からの眺望状況について、4季にわたって撮影を実施しました。時期による眺望状況の差はほとんどなく、代表として夏季の撮影結果を図-6.20.1.77に示しました。

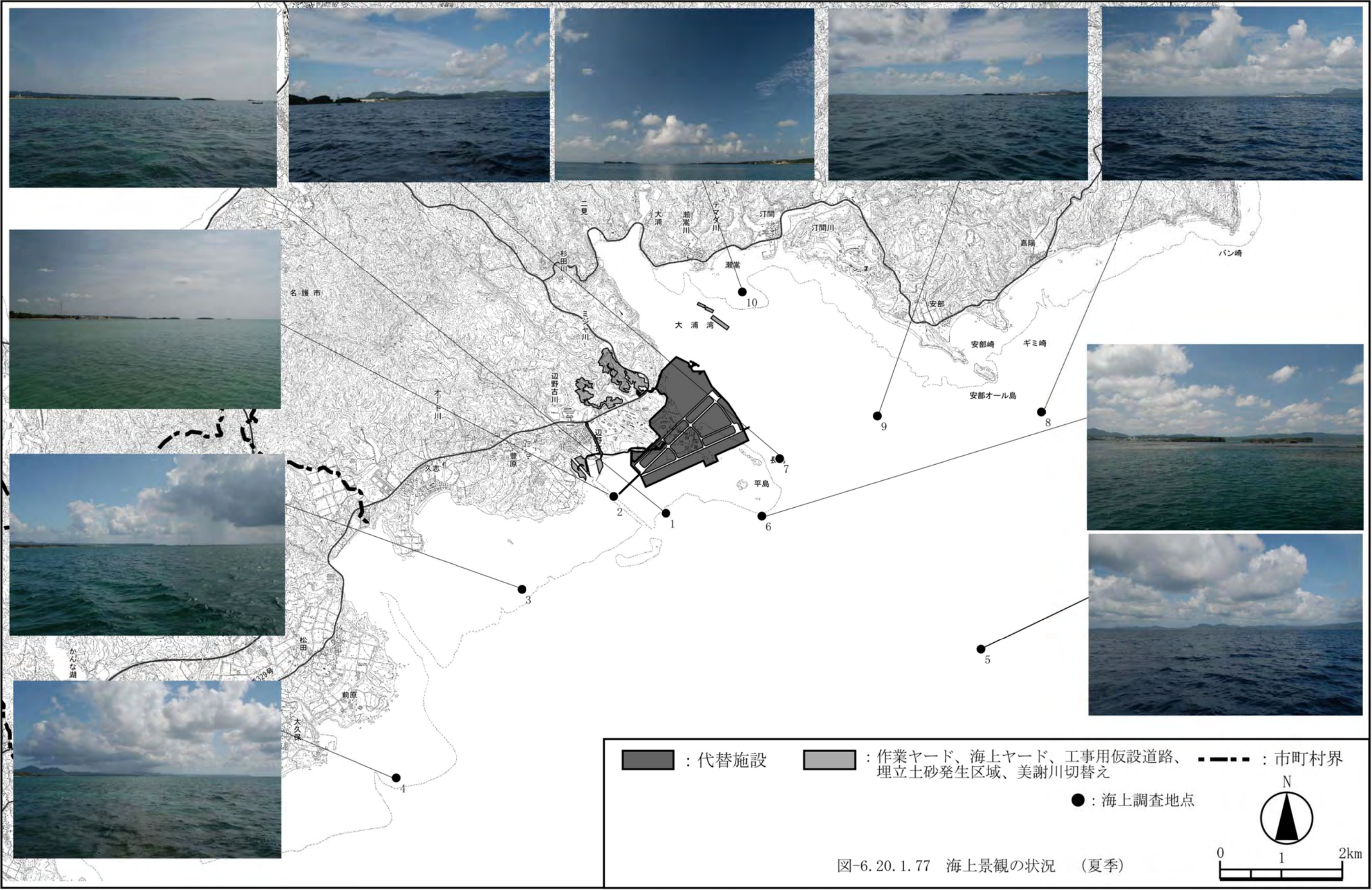


図-6.20.1.77 海上景観の状況 (夏季)

d) 海中

既存資料調査において選定した10地点からの眺望状況について、4季にわたって撮影を実施しました。時期による眺望状況の差はほとんどなく、代表として夏季の撮影結果を図-6.20.1.78に示しました。

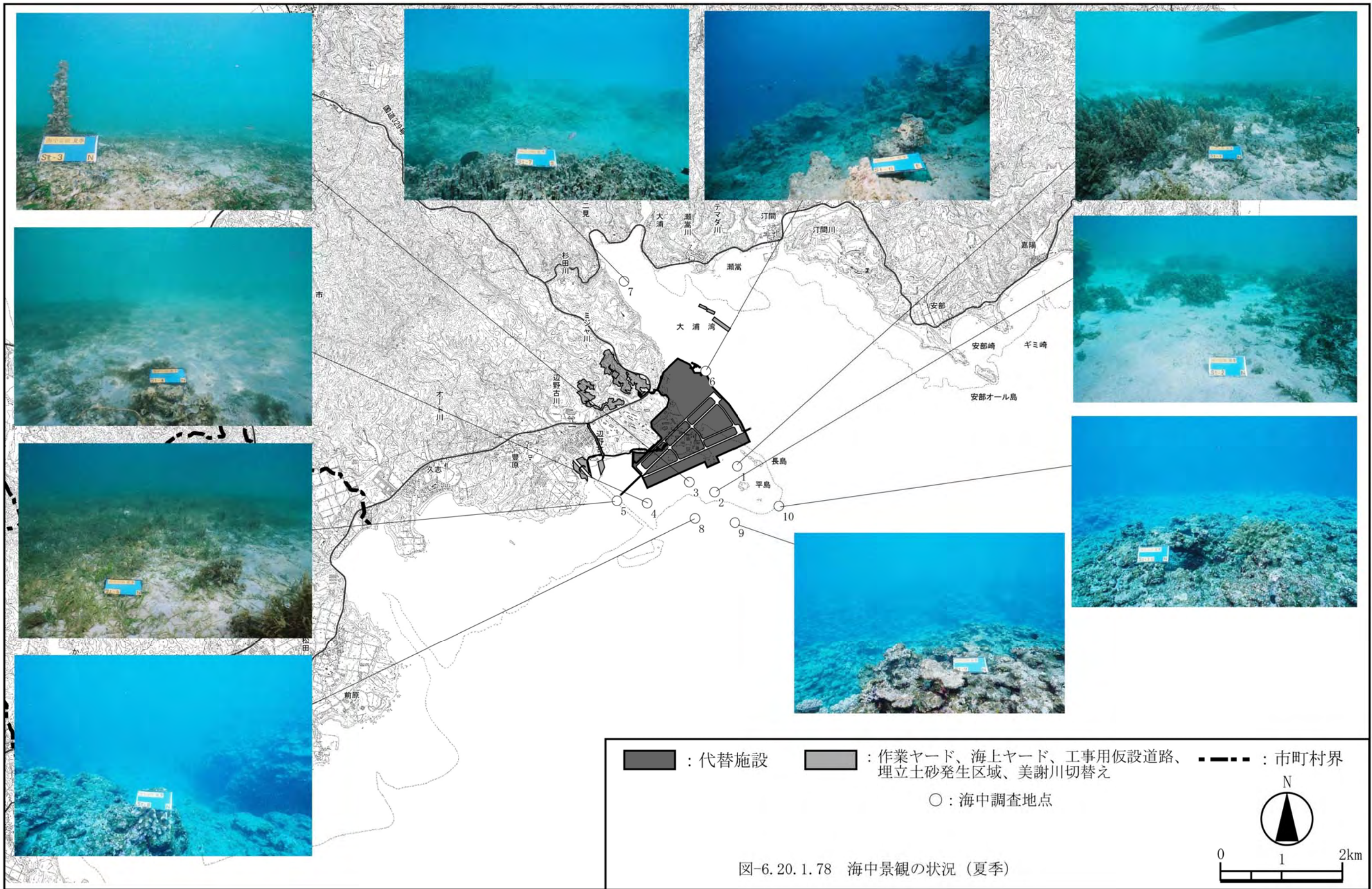


図-6.20.1.78 海中景観の状況（夏季）

(d) 囲繞景観の状況

a) 景観区の区分

既存調査において区分した陸上部の景観区分に、海域の景観区分を追加し、植物の現地調査結果をもとに修正し、景観区の区分を行いました。なお、海域については、サンゴ・藻場等の現地調査結果を元に、サンゴ礁が高被度（25%以上）で分布する区域をサンゴ景観区、海草藻場及びガラモ場が高被度（25%以上）で分布する区域を藻場景観区、干潟調査の調査範囲を干潟景観区としました。

区分した景観区の分布状況は図-6.20.1.79に、各区分ごとの面積は表-6.20.1.50に示すとおりです。

表-6.20.1.50 囲繞景観の区分と調査範囲内の面積

単位：ha

景観区分		現況 (ha)	
陸域	米軍施設外	樹林地（山地）	667.3
		樹林地（平地）	1,343.5
		耕作地・牧草地等	869.9
		島嶼	9.8
		草地・湿地	85.8
		開放水域	19.8
		砂浜等	89.4
		集落・人工地等	101.0
	米軍施設内	樹林地（山地）	364.8
		樹林地（平地）	737.8
		耕作地・牧草地等	42.0
		草地	63.9
		開放水域	6.7
		砂浜等	19.6
		集落・人工地等	115.8
海域	干潟	149.1	
	サンゴ	25.2	
	藻場	422.4	
	その他海域	5,741.3	
合計		10,875.0	

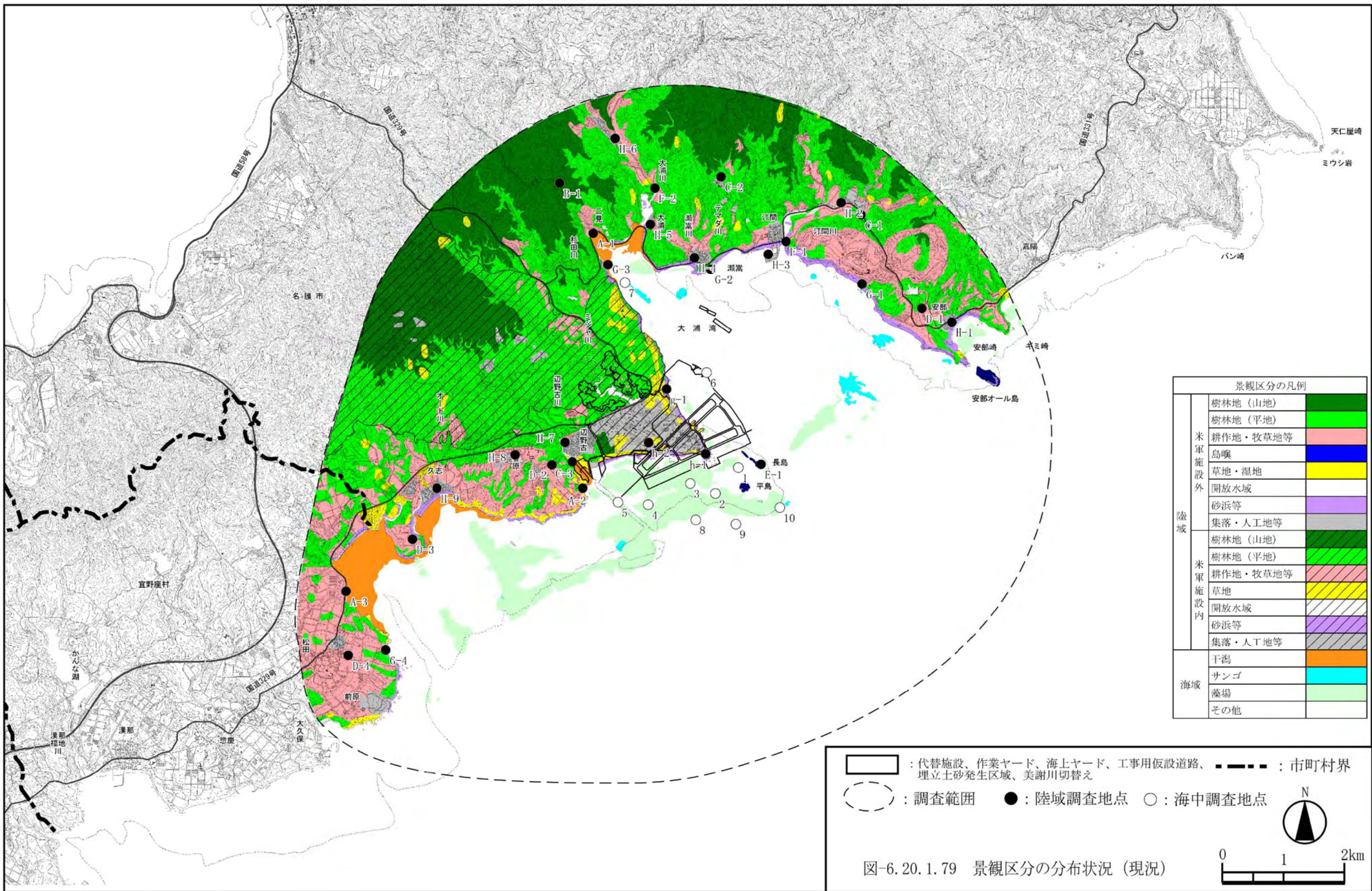


図-6.20.1.79 景観区分の分布状況 (現況)

b) 景観区ごとの場の状態及び利用の状況

景観区ごとの場の状態及び利用の状況について、調査地点ごとの調査結果は表-6. 20. 1. 51～表-6. 20. 1. 55に示すとおりです。

表-6. 20. 1. 51 場の状態及び利用の状況 (1/5)

景観区分	地点	地点名	場の状態	利用の状況		
陸域	米軍施設外	樹林地(山地)	B-1	二見区 林道	<ul style="list-style-type: none"> ・ 標高150m、傾斜3.66°。 ・ 現存植生はリュウキュウアオキースダジイ群集。 ・ 国道331号から旧レキオリゾートの前を通り、登攀していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自動車の通過交通や休憩、サイクリング等の利用がある。 ・ 国道側の入口が分かり難いため、外来利用者は少なく、地元住民(名護市)による利用が主体である。 ・ 国道からすぐにアクセスできるが、入口が分かり難く、道幅も広くないため、交通量はそれほど多くない。
		樹林地(平地)	C-1	三原橋	<ul style="list-style-type: none"> ・ 標高4m、傾斜8.65°。 ・ 現存植生はリュウキュウマツ群落。 ・ 国道331号上にある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常的な風景鑑賞、休憩、農作業、自動車の通過交通等の利用がある。 ・ 国道331号上にあるため、不特定多数の利用がある。 ・ 民家や農地があり、地元住民の日常的な利用の他、国道331号の通過交通もあり、多くの利用がある。
		樹林地(平地)	C-2	瀬嵩林道	<ul style="list-style-type: none"> ・ 標高75m、傾斜6.02°。 ・ 現存植生はリュウキュウマツ群落。 ・ 瀬嵩集落から名護学院の前を通り、登攀していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自動車の通過交通、名護学院の課外授業、サイクリング等の利用がある。 ・ 地元住民、名護学院関係者、観光客の利用がある。 ・ 名護学院が近隣にあるため、その関係者の利用の他、多野岳や一ツ岳へのアクセスルートにもなっていることから観光利用も見込め、比較的多くの利用がある。
	樹林地(平地)	C-3	辺野古 前上原 公園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 標高10m、傾斜5.61°。 ・ 現存植生はナガミボチョウジークスノハカエデ群落。 ・ 県道13号線沿いにあり、近傍に辺野古交流プラザがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常的な風景鑑賞、日常的な子供の遊び場、休憩等の利用がある。 ・ 辺野古地区中心地に近く、屋根付き休憩所(東屋)やトイレもあるため、地元住民だけでなく、不特定多数の利用者がある。 ・ 公園高台にある平和之塔や漁港棧橋にある神社への参拝利用もある。 ・ 人と自然との触れ合いの場調査におけるカウント調査結果によると、夏季平日34人、夏季休日28人、冬季平日26人、冬季休日55人、秋季平日117人、秋季休日85人、春季平日33人、春季休日108人の利用があった(ただし、労働者はカウントしていない)。 	
	耕作地・牧草地等	D-1	安部区 農地	<ul style="list-style-type: none"> ・ 標高18m、傾斜5.76°。 ・ 現存植生は休耕田雑草群落。 ・ 国道331号から内陸側へ入ったところにあり、近傍に安部ダムがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業等の利用がある。 ・ 安部地区集落の近くにあるが、側道(農道)に入らないとアクセスできないため、外来利用者は少なく、地元の農耕関係者による利用が主体である。 ・ 地元住民による利用がある(H20.4.1現在安部地区の人口175人)。 	
	耕作地・牧草地等	D-2	辺野古 区農地	<ul style="list-style-type: none"> ・ 標高30m、傾斜0.61°。 ・ 現存植生は畑地雑草群落。 ・ 県道13号線のショートカットルート沿いにある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常生活利用、農業、通過交通等の利用がある。 ・ 辺野古地区・豊原地区集落の近くにあり、地元住民による利用がある。 ・ 地元住民による利用がある(H20.4.1現在辺野古・豊原地区の人口2,412人)。 	
	耕作地・牧草地等	D-3	久志区 農地	<ul style="list-style-type: none"> ・ 標高3m、傾斜2.91°。 ・ 現存植生は畑地雑草群落。 ・ 県道13号線から加知味崎方向に入った側道(農道)を進む。 ・ 景観資源である久志岳及び辺野古岳の好展望ポイントである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業、通過交通(加知味崎での釣り・潮干狩り目的)等の利用がある。 ・ 視点へのアクセス道が農道のため、外来利用者は少なく、地元住民による利用が主体である。 ・ 地元住民による利用がある(H20.4.1現在久志地区の人口621人)。 	

表-6. 20. 1. 52 場の状態及び利用の状況 (2/5)

景観区分	地点	地点名	場の状態	利用の状況	
陸域 米軍施設外	耕作地・牧草地等	D-4	松田農村公園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 標高34m、傾斜1.46°。 ・ 現存植生は畑地雑草群落。 ・ 国道329号から東側の側道を進み、松田地区公民館・松寿館近辺にある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元住民の日常的な風景鑑賞、ゲートボール、子供の遊び場等の利用がある。 ・ 視点は、松田地区公民館に接する公園で、芝生広場や遊具が設置されており、地元住民による利用が主体である。 ・ 地元住民による利用がある (H20.9現在松田地区の人口1,363人)。
	島嶼	E-1	長島	<ul style="list-style-type: none"> ・ 標高10m、傾斜情報無し。 ・ 現存植生の情報は無い。 ・ 小型船舶で渡航することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元住民の潮干狩りやバーベキュー、漁船の休憩場、観光等の利用がある。 ・ 地元住民だけでなく、観光利用もある。 ・ アクセスが船舶での渡航に限られる。
	草地・湿地	A-2	辺野古の浜	<ul style="list-style-type: none"> ・ 辺野古地区の砂浜に広がる湿地。湿地の周囲には草地も広がり、さらにその周囲には樹林も広がる。海岸方向には代替施設及び作業ヤード(辺野古港)が見渡せる。 ・ 事業実施区域が位置する代替施設方向の上空を臨む。視界は開けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元住民による日常的な風景鑑賞、夕涼み、潮干狩り等の利用がある。 ・ 辺野古地区中心地に近いが、アクセス道が細く、分かり難いため、外来利用者は少ないが、地元住民による利用が見られる。 ・ 地元住民による利用がある。(H20.4.1現在：辺野古区の人口1,993人)
	開放水域	F-1	汀間地区会館、嘉手苅橋	<ul style="list-style-type: none"> ・ 標高0m、傾斜は情報無し。 ・ 現存植生は開放水域。 ・ 国道331号沿いにある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常生活利用、風景鑑賞、行事、水遊び、自動車の通過交通等の利用がある。 ・ 国道331号沿いにあるため、不特定多数の利用がある。 ・ 周囲には民家があり、地元住民の日常生活利用の他、国道331号の通過交通もあり、多くの利用がある。
		F-2	大浦のマングローブ林	<ul style="list-style-type: none"> ・ 標高2m、傾斜5.32°。 ・ 現存植生は開放水域。 ・ 県道18号線沿いにある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 風景鑑賞、学術研究、カヌー、地元住民による潮干狩り等の利用がある。 ・ 大浦地区集落～大川地区集落の間にあり、地元住民の利用の他、マングローブの鑑賞目的の観光客や研究者等の外来利用者がある。 ・ 地元住民による利用もある (H20.4.1現在大浦・大川地区の人口167人)。
	砂浜等	G-1	カヌチャビーチ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 標高0m、傾斜4.38°。 ・ 現存植生はグンバイヒルガオ・クワイザサ群落。 ・ カヌチャリゾートの敷地内にある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 海水浴、マリンスポーツ、散歩、写真撮影等の利用がある。 ・ 観光施設内であり、観光利用がほとんどである。 ・ 人と自然との触れ合いの場調査におけるカウント調査結果によると、夏季平日970人、夏季休日739人、秋季平日321人、秋季休日392人、冬季平日76人、冬季休日257人、春季平日300人、春季休日527人の利用があった(ただし、労働者はカウントしていない)。
		G-2	瀬嵩の浜	<ul style="list-style-type: none"> ・ 標高0m、傾斜は情報無し。 ・ 現存植生はアカテツ・ハマビヅ群落。 ・ 国道331号沿いにある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常的な風景鑑賞、海水浴、潮干狩り、サーフィンの利用がある。 ・ 地元ヒアリング結果によれば、視点の利用の大半は地元住民であるが、波の高い日にはサーファーの利用が多い。 ・ 人と自然との触れ合いの場調査におけるカウント調査結果によると、夏季平日32人、夏季休日27人、秋季平日37人、秋季休日131人、冬季平日5人、冬季休日85人、春季平日42人、春季休日49人の利用があった(ただし、労働者はカウントしていない)。

表-6. 20. 1. 53 場の状態及び利用の状況 (3/5)

景観区分		地点	地点名	場の状態	利用の状況	
陸域	米軍施設外	砂浜等	G-3	二見海岸	<ul style="list-style-type: none"> ・ 標高8m、傾斜12.16°。 ・ 現存植生の情報は無い。 ・ 二見コミュニティセンター東の崖下にある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 釣り、潮干狩り、日常的な風景鑑賞の利用が想定される。 ・ 地元ヒアリング結果によれば、外来利用者は少なく、地元住民による利用が主体である。 ・ 人と自然との触れ合いの場調査におけるカウント調査結果によると、夏季平日16人、夏季休日29人、秋季平日4人、秋季休日58人、冬季休日77人、春季平日11人、春季休日224人の利用があった（ただし、労働者はカウントしていない）。
			G-4	ヒービー海岸交流広場	<ul style="list-style-type: none"> ・ 標高12m、傾斜5.77°。 ・ 現存植生はリュウキュウマツ群落。 ・ 県道234号線から側道を下りた先にある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元住民による日常的な風景鑑賞、釣り、潮干狩り、キャンプ、バーベキュー等の利用が想定される。 ・ 幹線道路である県道234号線からのアクセス道が分かり難いこと、利用するには松田区長の許可が必要なことから、地元住民による利用が主体である。 ・ 人と自然との触れ合いの場調査におけるカウント調査結果によると、夏季平日24人、夏季休日36人、秋季平日8人、秋季休日26人、冬季平日8人、冬季休日39人、春季平日27人、春季休日165人の利用があった（ただし、労働者はカウントしていない）。
	集落・人工地等		H-1	安部地区会館	<ul style="list-style-type: none"> ・ 標高6m、傾斜1.72°。 ・ 現存植生は市街地。 ・ 国道331号の側道のすぐ先にある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元住民による日常的な生活利用、行事等の利用がある。 ・ 安部地区集落の中にあり、外来利用者は少なく、地元住民による利用が主体である。 ・ 地元住民による利用がある（H20.4.1現在安部地区の人口175人）。
			H-2	三原地区会館	<ul style="list-style-type: none"> ・ 標高7m、傾斜0.69°。 ・ 現存植生はリュウキュウマツ群落。 ・ 国道331号沿いにある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常的な生活利用、行事等の利用がある。 ・ 国道331号沿いにあるが、場所の性質上、外来利用者は少なく、地元住民による利用が主体である。 ・ 地元住民による利用がある（H20.4.1現在三原地区の人口346人）。
			H-3	汀間漁港	<ul style="list-style-type: none"> ・ 標高0m、傾斜1.72°。 ・ 現存植生の情報は無い。 ・ 国道331号沿いにある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 漁、釣り等の利用がある。 ・ 漁港であるため、漁師の利用が主体である。また、時間を問わず、釣りの利用客が頻繁に見られる。 ・ 人と自然との触れ合いの場調査におけるカウント調査結果によると、夏季平日39人、夏季休日56人、秋季平日71人、秋季休日72人、冬季平日31人、冬季休日160人、春季平日42人、春季休日98人の利用があった（ただし、労働者はカウントしていない）。
			H-4	瀬嵩区公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・ 標高4m、傾斜2.73°。 ・ 現存植生は市街地。 ・ 国道331号から側道を陸側へ入ったところにある。近傍にはJAや交番、名護市役所支所がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元住民による日常的な生活利用、行事等の利用がある。 ・ 瀬嵩地区集落の中心にあり、外来利用者は少なく、地元住民による利用が主体である。 ・ 地元住民による利用がある（H20.4.1現在瀬嵩地区の人口514人）。
			H-5	大浦集落センター	<ul style="list-style-type: none"> ・ 標高5m、傾斜5.37°。 ・ 現存植生は市街地。 ・ 県道18号線から側道を陸側へ入ったところにある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元住民による日常的な生活利用、行事等の利用がある。 ・ 大浦地区集落の中にあり、外来利用者は少なく、地元住民による利用が主体である。 ・ 地元住民による利用がある（H20.4.1現在大浦地区の人口93人）。

表-6. 20. 1. 54 場の状態及び利用の状況 (4/5)

景観区分		地点	地点名	場の状態	利用の状況	
陸域	米軍施設外	集落・人工地等	H-6	大川集落センター	<ul style="list-style-type: none"> ・ 標高8m、傾斜9.28°。 ・ 現存植生は畑地雑草群 ・ 名護市街への抜け道である県道18号線沿いにある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元住民の生活利用、行事、農業、水遊び、自動車の通過交通等の利用がある。 ・ 大川地区集落の近くにあり、地元住民の利用の他、県道18号線利用者の通過利用がある。 ・ 地元住民による利用 (H20. 4. 1現在大川地区の人口74人) と通過交通型の不特定多数の利用 (H17平日24時間、道路交通センサスによる県道18号線の交通量1,039台) がある。
			H-7	辺野古交流プラザ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 標高3m、傾斜4.44°。 ・ 現存植生は市街地。 ・ 県道13号線沿いにある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元住民による日常的な生活利用、行事等の利用がある。 ・ 辺野古地区集落の中にあり、外来利用者は少なく、地元住民による利用が主体である。 ・ 地元住民による利用がある (H20. 4. 1現在辺野古地区の人口1,993人)。
			H-8	豊原地区会館	<ul style="list-style-type: none"> ・ 標高47m、傾斜1.48°。 ・ 現存植生は市街地。 ・ 県道13号線から側道を北側へ入ったところにある。 ・ 公民館西側には、地区のシンボルとなっている「躍進」が彫られた碑がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元住民による日常的な生活利用、スポーツ (ゲートボール場、運動公園)、休憩等がある。 ・ 豊原地区集落の中にあり、外来利用者は少なく、地元住民による利用が主体である。 ・ 地元住民による利用がある (H20. 4. 1現在豊原地区の人口419人)。
			H-9	久志区公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・ 標高3m、傾斜3.85°。 ・ 現存植生は市街地。 ・ 県道13号線沿いにある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元住民による日常的な生活利用、行事、休憩、子供の遊び場等の利用がある。 ・ 久志地区集落の中にあり、外来利用者は少なく、地元住民による利用が主体である。 ・ 地元住民による利用がある (H20. 4. 1現在久志地区の人口621人)。
陸域	米軍施設内	砂浜等	g-1	米軍施設内ビーチ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 標高7m、傾斜4.85°。 ・ 現存植生はチガヤーススキ群落。 ・ キャンプ地区の北東部にあり、弾薬庫地区に接する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 米軍関係者による日常的な風景鑑賞、海水浴、演習の利用が想定される。 ・ 米軍施設内であるため、外来利用は米軍施設開放日を除いて想定されないが、キャンプ・シュワブ関係者の利用が想定される。 ・ 利用者数は不詳 (統計データなし)。利用者属性を考慮すれば、キャンプ・シュワブ駐留軍従業員数222人とほぼ同じ利用者数であると考えられる。
			h-1	辺野古崎	<ul style="list-style-type: none"> ・ 標高1m、傾斜0.36°。 ・ 現存植生は市街地。 ・ キャンプ地区の南東にあり、代替施設予定地内である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 米軍関係者によるスポーツ、日常的な風景鑑賞、休憩の利用が想定される。 ・ 米軍施設内であるため、外来利用は米軍施設開放日を除いて想定されないが、キャンプ・シュワブ関係者の利用が想定される。 ・ 利用者数は不詳 (統計データなし)。キャンプ・シュワブ関係者の利用が想定されるため、キャンプ・シュワブ駐留軍従業員数222人を参考値とする。
			h-2	米軍施設内広場2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 標高16m、傾斜3.09°。 ・ 現存植生は市街地。 ・ キャンプ地区の南にある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 米軍関係者に日常的な風景鑑賞、休憩の利用が想定される。 ・ 米軍施設内であるため、外来利用は米軍施設開放日を除いて想定されないが、キャンプ・シュワブ関係者の利用が想定される。 ・ 利用者数は不詳 (統計データなし)。キャンプ・シュワブ関係者の利用が想定されるため、キャンプ・シュワブ駐留軍従業員数222人を参考値とする。

表-6. 20. 1. 55 場の状態及び利用の状況 (5/5)

景観区分	地点	地点名	場の状態	利用の状況	
海域	干潟	A-1	楚久川 河口	<ul style="list-style-type: none"> ・ 標高0m、傾斜1.12°。 ・ 現存植生の情報は無い。 ・ 国道331号沿いにある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元住民による日常的な風景鑑賞、潮干狩り、野鳥観察の利用がある。 ・ 視点は国道331号沿いに位置し、近傍に街区公園が整備されているが、外来利用者は少なく、地元住民による利用が主体である。 ・ 地元住民による利用がみられる。 (H20. 4. 1現在：二見区の人口85人)
		A-3	潟原の 干潟	<ul style="list-style-type: none"> ・ 標高13m、傾斜2.57°。 ・ 現存植生の情報は無い。 ・ 国道329号沿いにある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元住民による潮干狩り、通過交通型の風景鑑賞等の利用が想定される。 ・ 国道329号沿いであることから、通過交通型の不特定多数の利用者が中心である。また、松田地区の地元住民の利用も見られる。 ・ 通過交通型の不特定多数の利用がある。 (H17平日24h、国道329号の交通量10,778台※)。 ※道路交通センサス
	サンゴ			<ul style="list-style-type: none"> ・ 底質は岩礁で、サンゴ類が高被度で分布 ・ 大浦、安部の前面海域、中干瀬に分布 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域住民による日常的な利用はないが、浜下りの時期には利用がなされる。
	藻場			<ul style="list-style-type: none"> ・ 底質は砂質、砂泥質で、アマモ類、ホンダワラ類などが高被度に生育 ・ 辺野古崎から西側にかけてのリーフ内に分布 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域住民による日常的な利用はないが、浜下りの時期には利用がなされる。
	その他			<ul style="list-style-type: none"> ・ 調査範囲内に広く分布。サンゴ類等の被度は低い 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 漁場、航路として利用されている。

c) 景観区ごとの眺めの状況

景観区ごとの眺めの状況について、調査地点ごとの調査結果は表-6. 20. 1. 56～表-6. 20. 1. 58及び図-6. 20. 1. 80～図-6. 20. 1. 83に示すとおりです。

表-6. 20. 1. 56 眺めの状況 (1/3)

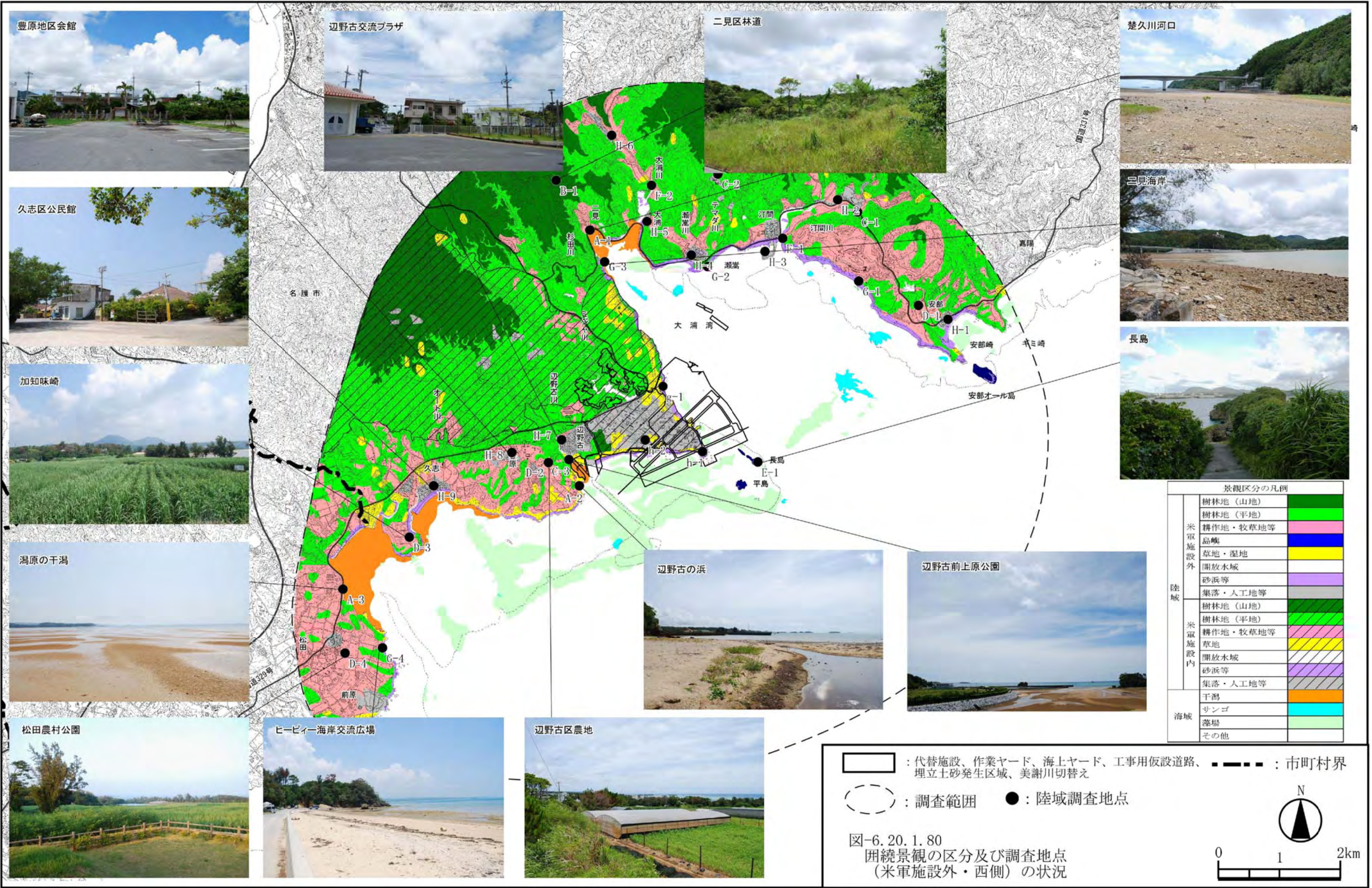
景観区分	地点	地点名	眺めの状態
陸域 米軍施設外	樹林地(山地)	B-1	二見区林道 <ul style="list-style-type: none"> ・ 国道331号と県道18号線を結ぶ二見区の林道。周囲に民家等は無く、樹林が左右に延々と広がる。 ・ 事業実施区域が位置する代替施設方向の上空を臨む。視界は樹林であり開けていない。
	樹林地(平地)	C-1	三原橋 <ul style="list-style-type: none"> ・ 国道331号上の三原橋付近。汀間川が流れ、周囲には民家、その背後に樹林が広がる。 ・ 周囲には、農地(サトウキビ畑)も広がる。
		C-2	瀬嵩林道 <ul style="list-style-type: none"> ・ 瀬嵩林道沿い。海岸寄りに名護学院があるが、それ以外に周囲に民家等は無く、樹林が左右に延々と広がる。 ・ 事業実施区域が位置する代替施設方向の上空を臨む。視界は樹林であり開けていない。
		C-3	辺野古前上原公園 <ul style="list-style-type: none"> ・ 辺野古前上原公園付近。屋根付き休憩所や椅子・テーブル、トイレ、散策道等がある。脇を辺野古川が流れ、眼下には湿地が広がる。南東には辺野古漁港がある。 ・ 事業実施区域が位置する代替施設方向の上空を臨む。視界は開けている。
	耕作地・牧草地等	D-1	安部区農地 <ul style="list-style-type: none"> ・ 安部区の農地周辺。周囲は樹林で、農地が広がる。 ・ 事業実施区域が位置する代替施設方向の上空を臨む。視界は樹林であり開けていない。
		D-2	辺野古区農地 <ul style="list-style-type: none"> ・ 辺野古地区の農地周辺。海も近く、辺野古地区集落・豊原地区集落ともに近い。事業実施区域が位置する代替施設方向の上空の視界は開けている。
		D-3	久志区農地 <ul style="list-style-type: none"> ・ 久志地区の農地(サトウキビ畑)周辺。海に近く、事業実施区域が位置する代替施設方向の上空の視界は開けている。
		D-4	松田農村公園 <ul style="list-style-type: none"> ・ 松田農村公園。松田地区集落に近く、遊具も設置されている。事業実施区域が位置する代替施設方向の上空の視界は開けている。 ・ 公園の近傍には、松田地区公民館や松寿館が隣接する。 ・ 公園西側に広がる農地(サトウキビ畑)。樹林も広がる。
	島嶼	E-1	長島 <ul style="list-style-type: none"> ・ 長島西部にある棧橋からは上り階段が灯台へと続いている。周囲は低木林である。 ・ 灯台からはさらに東へと上り坂が続き、頂上の岩山では360°の展望が開ける。
	草湿地・	A-2	辺野古の浜 <ul style="list-style-type: none"> ・ 辺野古地区の砂浜に広がる湿地。湿地の周囲には草地も広がり、さらにその周囲には樹林も広がる。海岸方向には代替施設及び作業ヤード(辺野古港)が見渡せる。 ・ 事業実施区域が位置する代替施設方向の上空を臨む。視界は開けている。
	開放水域	F-1	汀間地区会館、嘉手苺橋 <ul style="list-style-type: none"> ・ 汀間川に架かる嘉手苺橋上より。左岸側は樹林となっている。南西方向はすぐに海で、代替施設が見渡せる。 ・ 嘉手苺橋下の砂地付近。汀間川が流れる。東側は社寺林である。 ・ 嘉手苺橋の西側にある汀間地区会館付近。地区会館、汀間区共同売店、拜所などがある。社寺林や屋敷林などの樹林のほか、集落も広がる。 ・ 左から嘉手苺橋下の砂地、汀間地区会館より事業実施区域が位置する代替施設方向の上空を臨む。嘉手苺橋下の砂地の視界は開けているが、汀間地区会館の視界は樹林であり開けていない。
		F-2	大浦のマングロブ林 <ul style="list-style-type: none"> ・ 大浦地区のマングロブ林北端。大浦川流域、県道18号線沿いにある。両端には樹林が広がる。 ・ 事業実施区域が位置する代替施設方向の上空を臨む。視界は樹林であり開けていない。

表-6.20.1.57 眺めの状況 (2/3)

景観区分	地点	地点名	眺めの状態
陸域 米軍施設外	砂浜等	G-1	カヌチャビーチ ・ カヌチャリゾート内の砂浜。夏季には多くの利用がある。カヌチャリゾートホテルに隣接している。 ・ 事業実施区域が位置する代替施設方向の上空を臨む。視界は開けている。
		G-2	瀬嵩の浜 ・ 瀬嵩御宮の東に広がる砂浜。夏季には多くの利用がある。背後には樹林が広がっている。 ・ 事業実施区域が位置する代替施設方向の上空を臨む。視界は開けている。
		G-3	二見海岸 ・ 二見コミュニティセンターの崖下を下りた砂浜。大浦湾を一望できる。 ・ 事業実施区域が位置する代替施設方向の上空を臨む。視界は開けている。
		G-4	ヒービー海岸交流広場 ・ ヒービー浜交流広場の海側（東側）。樹林に囲まれ、海草が打ち上がっていることが多い。代替施設の眺望がある。 ・ ヒービー浜交流広場の陸側（西側）。芝生が植えられており、東屋やテーブル、ベンチ、トイレ等が整備されている。
	集落・人工地等	H-1	安部地区会館 ・ 安部地区会館と周囲の集落。屋敷林も見られる。地区会館のすぐ南は海岸である。 ・ 事業実施区域が位置する代替施設方向の上空を臨む。視界は樹林であり開けていない。
		H-2	三原地区会館 ・ 三原地区会館付近。背後には樹林が広がり、周囲には民家もある。 ・ 事業実施区域が位置する代替施設方向の上空を臨む。視界は樹林であり開けていない。
		H-3	汀間漁港 ・ 汀間漁港付近。汀間地区集落に近接する。代替施設の眺望がある。
		H-4	瀬嵩区公民館 ・ 瀬嵩区公民館付近。瀬嵩地区集落の中心にある。 ・ 公民館のすぐ脇には、遊具のある広場やゲートボール場、拝所・慰霊碑がある。 ・ 事業実施区域が位置する代替施設方向の上空を臨む。視界は建物等であり開けていない。
		H-5	大浦集落センター ・ 大浦集落センター付近。大浦地区集落の中心にある。すぐ南には、名護の名木に指定されているガジマルが、ガジマルを挟んだセンター向かいには、拝所がある。 ・ 事業実施区域が位置する代替施設方向の上空を臨む。視界は建物等であり開けていない。
		H-6	大川集落センター ・ 大川集落センター付近。東側に農地、西側に大川地区集落、南側にゲートボール場がある。 ・ 大川集落センター東側には農地があるほか、大浦川が流れている。 ・ 事業実施区域が位置する代替施設方向の上空を臨む。視界は樹林であり開けていない。
		H-7	辺野古交流プラザ ・ 辺野古交流プラザ付近。辺野古地区集落の中にある。公民館として利用されている。 ・ 事業実施区域が位置する代替施設方向の上空を臨む。視界は開けている。
		H-8	豊原地区会館 ・ 豊原地区会館は、豊原地区集落の中にあり、ゲートボール場が隣接し、眼下に運動公園が整備されている。 ・ 事業実施区域が位置する代替施設方向の上空を臨む。視界は開けている。
		H-9	久志区公民館 ・ 久志区公民館は、久志地区集落の中の県道13号線沿いにあり、すぐ南には海がある。 ・ 公民館前の広場には、体育館、名護の名木に指定されているガジュマルと、その向こうに共同売店がある。 ・ 事業実施区域が位置する代替施設方向の上空を臨む。視界は開けている。

表-6.20.1.58 眺めの状況 (3/3)

景観区分		地点	地点名	眺めの状態	
陸域	米軍施設内	砂浜等	g-1 米軍施設内 ビーチ	<ul style="list-style-type: none"> ・ キャンプ地区にあるビーチ。眼前に大浦湾を一望でき、手前には砂浜がある。 ・ 砂浜の背後には、駐車場が整備されている。東屋が設置されている。 ・ 事業実施区域が位置する代替施設方向の上空を臨む。視界は開けている。 	
		集落・人工地等	h-1	辺野古崎	<ul style="list-style-type: none"> ・ 辺野古崎付近。テニスコートとバスケットボールコートが整備されている。東屋も設置されている。 ・ 海岸沿いは草原がひろがっており、さらに海側は砂浜になっている。平島・長島に近く、安部オール島もよく見える。
			h-2	米軍施設内広場2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 監督官事務所前の広場付近。小高い丘になっており、芝生広場が広がっている。 ・ 事業実施区域が位置する代替施設方向の上空を臨む。視界は開けている。
海域	干潟	A-1	楚久川河口	<ul style="list-style-type: none"> ・ 楚久川河口に広がる干潟。すぐ背後には樹林が広がる。 ・ 干潟北側に整備されている公園があり、遊具とベンチが置いてある。 	
		A-3	潟原の干潟	<ul style="list-style-type: none"> ・ 松田地区の国道329号沿い。東の海側には潟原干潟が広がる。 ・ 景観資源である久志岳・辺野古岳・石岳がよく見える。事業実施区域が位置する代替施設方向の上空の視界は開けている。 ・ 国道の西側には宜野座カントリークラブがある。 	
	サンゴ			<ul style="list-style-type: none"> ・ 陸上からの眺望はない。 ・ 岩礁にパッチ状にサンゴ類が分布している。 	
	藻場			<ul style="list-style-type: none"> ・ 陸上からの眺望はない。 ・ 砂地にパッチ状に藻場の生育が見られる。 	
	その他海域			<ul style="list-style-type: none"> ・ 調査範囲内に広範囲に広がる。 	



景観区分の凡例

陸域	米軍施設外	樹林地 (山地)	■	
		樹林地 (平地)	■	
		耕作地・牧草地等	■	
		島嶼	■	
		草地・湿地	■	
		開放水域	■	
		砂浜等	■	
		集落・人工地等	■	
	米軍施設内		樹林地 (山地)	■
			樹林地 (平地)	■
		耕作地・牧草地等	■	
		草地	■	
		開放水域	■	
海域		砂浜等	■	
		集落・人工地等	■	
		干潟	■	
		サンゴ	■	
	藻場	■		
	その他	■		

[] : 代替施設、作業ヤード、海上ヤード、工事用仮設道路、埋立土砂発生区域、美謝川切替え
 [---] : 市町村界
 [---] : 調査範囲 ● : 陸域調査地点

図-6.20.1.80
 围绕景観の区分及び調査地点
 (米軍施設外・西側) の状況

